

2 0 2 3 濃 計 発 第 2 0 号
2 0 2 3 年 7 月 2 8 日

原子力規制委員会 殿

青森県上北郡六ヶ所村大字尾駸字沖付 4 番地 1 0 8
日本原燃株式会社
代表取締役社長 社長執行役員 増田 尚宏

加 工 施 設 に 関 す る 設 計 及 び
工 事 の 計 画 の 軽 微 な 変 更 の 届 出

別紙のとおり加工施設に関する設計及び工事の計画を変更したため、核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律第16条の2第5項の規定に基づき届け出いたします。

本書類の記載内容のうち、 内の記載事項は、商業機密に係る情報に属するものであり、公開できません。

一 名称及び住所並びに代表者の氏名

名 称	日本原燃株式会社
住 所	青森県上北郡六ヶ所村大字尾駸字沖付 4 番地 1 0 8
代表者の氏名	代表取締役社長 社長執行役員 増 田 尚 宏

二 変更に係る加工施設の概要

1. 事業所の名称及び所在地

名 称	濃縮・埋設事業所
所 在 地	青森県上北郡六ヶ所村大字尾駸字野附 5 0 4 番地 2 2

2. 変更に係る加工施設の種類

濃縮施設 カスケード設備

三 法第十六条の二第一項又は第二項の認可年月日及び認可番号

認 可 年 月 日	令和 3 年 7 月 26 日
認 可 番 号	原規規発第 2107269 号

四 変更の内容

添付 1 及び添付 2 のとおり

五 変更の理由

令和 3 年 7 月 26 日付け原規規発第 2107269 号にて認可された加工施設に関する設計及び工事の計画（2022 年 12 月 26 日付け 2022 濃計発第 61 号にて軽微な変更の届出）において、カスケード設備の主配管の設計条件及び仕様に関する記載のうち、一部の配管の厚さについて、添付 1 のとおり変更を行った。

また、上記の変更に伴い、添付書類の加工施設に関する図面における仕様表記載の公称値の許容範囲について、添付 2 のとおり変更を行った。

なお、上記の変更内容は、技術基準規則への適合性評価に影響がなく、核燃料物質の加工の事業に関する規則第三条の二第 2 項に規定される加工施設の保全上支障のない変更
に該当する。

1. 設計条件及び仕様

1.1 カスケード設備

(1) 2A カスケード系 (RE-XXXXXXXXXX)

a. 主配管

変更前								変更後														
名称	最高使用圧力	最高使用温度	流体等の種類	臨界管理	外径	厚さ	主要材料	名称	最高使用圧力	最高使用温度	流体等の種類	臨界管理	外径	厚さ	主要材料							
				核的制限値								核的制限値										
				濃縮度								濃縮度										
		hPa	℃	—	%	mm	mm	—	hPa	℃	—	%	mm	mm	—							
2A カスケード系 (RE- XXXXXXXXXX)	2A カスケード室第1支持点～遠心分離機 (RE- XXXXXXXXXX)	上限：960 ^{*1} 下限：0 ^{*1}	40	気体 UF ₆	5 以下	34.0	3.0	XXXXXXXXXX	2A カスケード系 (RE- XXXXXXXXXX)	変更なし	40	気体 UF ₆	5 以下	変更なし		変更なし						
						89.1	3.0							変更なし	変更なし							
						114.3	3.0															
						139.8	3.4															
	165.2	3.4	変更なし	3.5																		
	2A カスケード室第1支持点～遠心分離機 (RE- XXXXXXXXXX)	上限：960 ^{*1} 下限：0 ^{*1}	40	気体 UF ₆	5 以下	34.0	3.0	XXXXXXXXXX						2A カスケード系 (RE- XXXXXXXXXX)	変更なし		40	気体 UF ₆	5 以下	変更なし		変更なし
						89.1	3.0													変更なし	変更なし	
						114.3	3.0															
139.8						3.4																
165.2	3.4	変更なし	3.5																			

注記 *1：圧力の表記は、絶対圧力とする。なお、ゲージ圧力を示す場合は単位記号の後に G 又は Gauge を付し、ゲージ圧力であることを明確にする。

図 3.1.1 カスケード設備 構造図（遠心分離機（RE- ）） 別紙

仕様表記載の公称値の許容範囲

主配管

主要寸法 (mm)		許容範囲 (mm)	根拠
2A カスケード室第 1 支持点 ～ 遠心分離機(RE-)	厚 さ	3.5	+0.35 -0.35 JIS G 3459 による材 料公差
2A カスケード室第 1 支持点 ～ 遠心分離機(RE-)		3.5	+0.35 -0.35 JIS G 3459 による材 料公差